

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年1月13日
【四半期会計期間】	第39期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
【会社名】	スギホールディングス株式会社
【英訳名】	SUGI HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 榊原 栄一 愛知県安城市三河安城町一丁目8番地4
【本店の所在の場所】	(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。)
【電話番号】	0566(73)6300
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 笠井 真
【最寄りの連絡場所】	愛知県大府市横根町新江62番地の1
【電話番号】	0562(45)2744
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 笠井 真
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第38期 第3四半期連結 累計期間	第39期 第3四半期連結 累計期間	第38期
会計期間		自2019年3月1日 至2019年11月30日	自2020年3月1日 至2020年11月30日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高	(百万円)	398,183	446,030	541,964
経常利益	(百万円)	21,399	26,290	31,473
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(百万円)	14,269	17,317	20,782
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	14,596	19,421	20,823
純資産額	(百万円)	176,522	197,225	182,750
総資産額	(百万円)	307,308	317,391	313,757
1株当たり四半期(当期)純利 益	(円)	230.84	280.16	336.21
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	57.4	62.1	58.2

回次		第38期 第3四半期連結 会計期間	第39期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自2019年9月1日 至2019年11月30日	自2020年9月1日 至2020年11月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	61.60	77.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により企業収益の減少や個人消費の低迷、雇用環境の悪化などを招き、厳しい状況で推移いたしました。また、先行きの見通しにつきましても、新型コロナウイルス感染症の患者数が再び増加傾向に転じており、極めて不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、マスクや消毒用アルコールなどの感染予防商品、食料品や生活用品などの巣ごもり関連商品などの需要が増加した一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景としたテレワークの推進やマスクの常時着用といった生活スタイルの変化に伴う化粧品需要の低下、入国制限によるインバウンド需要の消失長期化などが見られ、当社グループを取り巻く経営環境につきましても予断を許さない状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは、従業員のマスク着用、レジ及び服薬指導カウンターへの飛沫感染予防フィルターの設置、店舗出入口への消毒用アルコールの常設など感染予防対策を徹底し、地域社会の人々の生活を支える社会インフラとしての役割を担うべく営業活動を継続いたしました。店舗の営業力強化に向けては、創業来の強みであるカウンセリング販売の推進や調剤実施店舗の増設、2020年9月の薬機法改正を受け、薬局と患者様をデジタルでつなぎ、薬局のかかりつけ化を推進・支援するアプリ「kakari」の導入、お客様と店舗をデジタルで結ぶスギ薬局公式アプリやスギサポアプリなどのダウンロード促進、お客様の満足度向上や業務の生産性向上を目的とした当社グループのDX（デジタルトランスフォーメーション）を進めてまいりました。

店舗の出退店につきましては、引き続き関東・中部・関西・北陸エリアへの出店に注力し、98店舗の新規出店、14店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当第3四半期末における店舗数は1,371店舗（前期末比84店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は4,460億30百万円（前年同期比12.0%増、478億47百万円増）、売上総利益は1,336億11百万円（同14.0%増、164億18百万円増）、販売費及び一般管理費は1,082億96百万円（同11.6%増、112億34百万円増）、営業利益は253億14百万円（同25.8%増、51億84百万円増）、経常利益は262億90百万円（同22.9%増、48億90百万円増）、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は173億17百万円（同21.4%増、30億48百万円増）となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

#### (2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億33百万円増加し、3,173億91百万円（前連結会計年度末は3,137億57百万円）となりました。これは主に建物及び構築物、商品、差入保証金、売掛金が増加した一方で、前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ108億42百万円減少し、1,201億65百万円（前連結会計年度末は1,310億7百万円）となりました。これは主に前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により買掛金が減少した一方で、賞与引当金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ144億75百万円増加し、1,972億25百万円（前連結会計年度末は1,827億50百万円）となりました。これは主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.1%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	63,330,838	63,330,838	東京証券取引所 名古屋証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数 100株
計	63,330,838	63,330,838	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日	-	63,330,838	-	15,434	-	24,632

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,516,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 61,774,500	617,745	-
単元未満株式	普通株式 39,438	-	-
発行済株式総数	63,330,838	-	-
総株主の議決権	-	617,745	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
スギホールディングス株式会社	愛知県安城市三河安城町一丁目8番地4	1,516,900	-	1,516,900	2.39
計	-	1,516,900	-	1,516,900	2.39

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は1,516,988株、その発行済株式総数に対する所有株式数の割合は2.39%となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,347	63,998
売掛金	28,211	30,020
有価証券	10,000	9,000
商品	63,668	72,268
その他	13,669	10,622
貸倒引当金	13	1
流動資産合計	196,883	185,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,994	60,790
その他(純額)	22,282	22,404
有形固定資産合計	74,276	83,195
無形固定資産	3,542	5,199
投資その他の資産		
差入保証金	22,861	25,060
その他	16,216	18,050
貸倒引当金	23	23
投資その他の資産合計	39,054	43,087
固定資産合計	116,874	131,482
資産合計	313,757	317,391



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,479	70,684
未払法人税等	5,220	3,319
賞与引当金	1,955	3,285
その他	26,123	26,164
流動負債合計	115,779	103,454
固定負債		
退職給付に係る負債	6,379	6,862
資産除去債務	5,517	5,977
その他	3,330	3,870
固定負債合計	15,228	16,711
負債合計	131,007	120,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	151,807	164,180
自己株式	9,297	9,297
株主資本合計	182,577	194,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317	2,414
退職給付に係る調整累計額	144	138
その他の包括利益累計額合計	172	2,276
純資産合計	182,750	197,225
負債純資産合計	313,757	317,391

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	398,183	446,030
売上原価	280,990	312,419
売上総利益	117,192	133,611
販売費及び一般管理費	97,062	108,296
営業利益	20,130	25,314
営業外収益		
固定資産受贈益	436	359
受取賃貸料	1,228	1,340
その他	744	767
営業外収益合計	2,409	2,468
営業外費用		
賃貸収入原価	840	1,065
その他	299	427
営業外費用合計	1,140	1,493
経常利益	21,399	26,290
特別損失		
減損損失	72	442
特別損失合計	72	442
税金等調整前四半期純利益	21,327	25,847
法人税、住民税及び事業税	8,270	9,167
法人税等調整額	1,212	638
法人税等合計	7,058	8,529
四半期純利益	14,269	17,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,269	17,317

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	14,269	17,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	2,097
退職給付に係る調整額	63	6
その他の包括利益合計	326	2,103
四半期包括利益	14,596	19,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,596	19,421

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	6,040百万円	7,230百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月5日 取締役会	普通株式	2,163	35	2019年2月28日	2019年5月27日	利益剰余金
2019年9月23日 取締役会	普通株式	2,472	40	2019年8月31日	2019年11月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月7日 取締役会	普通株式	2,472	40	2020年2月29日	2020年5月21日	利益剰余金
2020年9月28日 取締役会	普通株式	2,472	40	2020年8月31日	2020年11月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり四半期純利益	230円84銭	280円16銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	14,269	17,317
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(百万円)	14,269	17,317
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,814	61,813

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

(剰余金の配当)

2020年9月28日開催の取締役会において、剰余金の配当(中間)を行うことを次のとおり決議いたしました。

- |              |            |
|--------------|------------|
| (1) 配当金の総額   | 2,472百万円   |
| (2) 1株当たり配当金 | 40円00銭     |
| (3) 基準日      | 2020年8月31日 |
| (4) 効力発生日    | 2020年11月5日 |

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月13日

スギホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 晴久 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 牧野 秀俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスギホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スギホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。